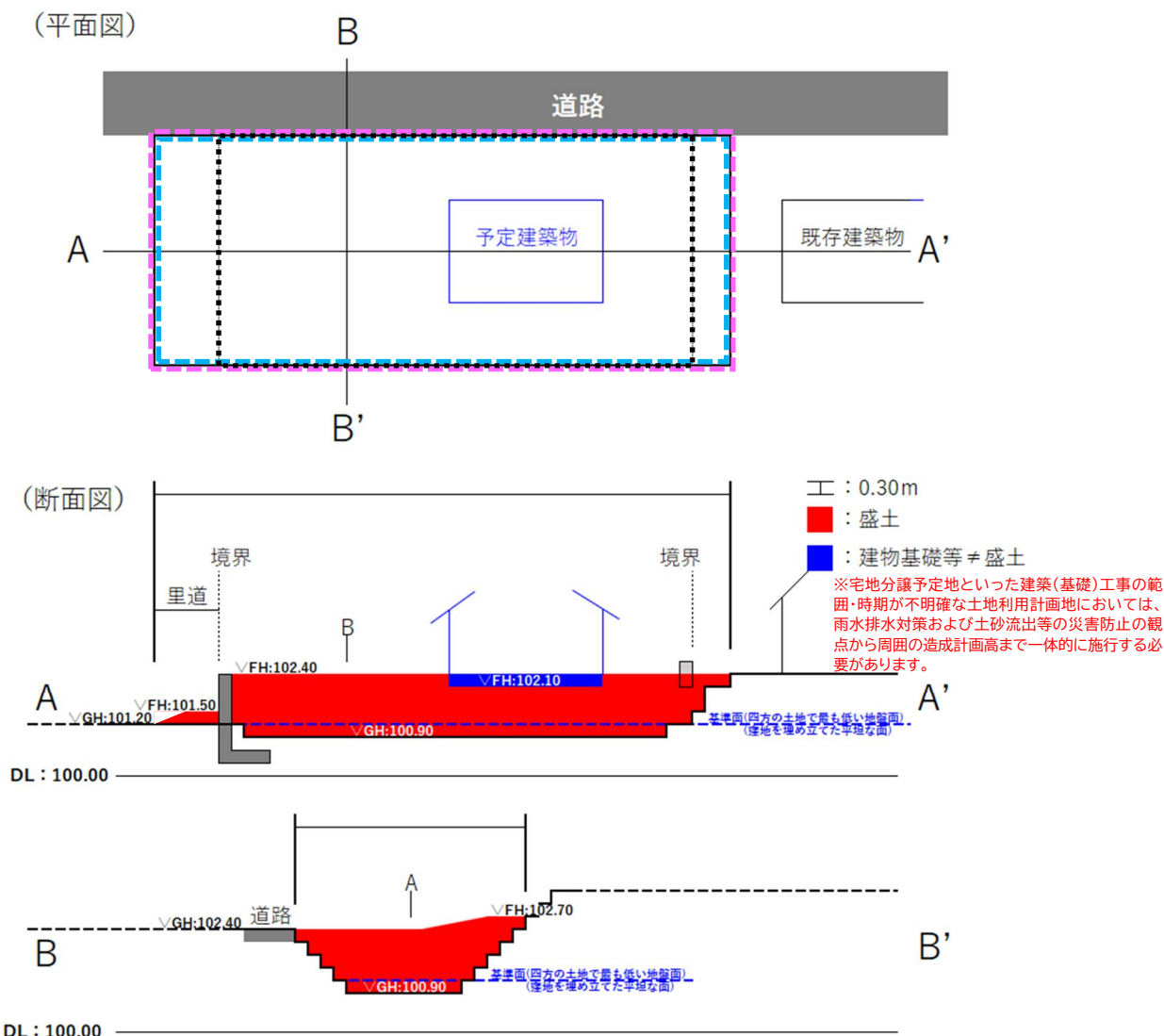


■ 「土地の形質の変更(許可申請)」にかかる工事規模等の解説と記載例

参考：建築物の建築の用に供する目的で行う宅地造成



項目	範囲・値	解説
・土地の面積【許可申請書5欄】 (土地の所在地及び地番【4欄】)		工事をする範囲(盛土および切土を行わない土地含む) ※建築確認申請における敷地面積(範囲)と異なる場合があります。
・盛土又は切土をする土地の面積【10欄口】		一体的に盛土および切土を行う範囲(関連区域含む) ※工事施行同意・手数料算定などの対象となります。
・盛土又は切土の高さ【10欄イ】	1.50m	造成後の最大高低差=102.70m-101.20m ※窪地を含んだ鉛直方向最大の盛土厚さ(高さ)ではありません。
(生ずる崖の高さ)	0.90m	擁壁展開図中の最大見え高=102.40m-101.50m ※造成後の最大高低差【10欄イ】となる場合があります。

注：次の行為は、盛土または切土の高さや土量に含める必要はありませんが、根入れや地盤について講ずる措置(軟弱地盤対策)などは審査等の対象となります。

- ・構造物等の設置(埋設)・除却・改修などに伴う現地盤から施工基面までの床掘・埋戻し
- ・表土(農耕土等)の鋤取り、地盤改良(置換え含む)
- ・加熱アスファルト混合物やコンクリートなどの舗装材料(ただし、粒度調整砕石など「土」に該当するものを除く)

記載例

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 第 12 条第 1 項 } の規定により、許可を 申請します。 令和〇年〇月〇日 滋賀県知事 〇〇 〇〇 申請者 氏名 株式会社コウジヌシ 代表取締役 ●●●●		※手数料欄			
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	大津市〇〇△丁目〇番地 株式会社コウジヌシ ●●●● (〇〇市〇〇△丁目〇番地〇 代表取締役 ●●●●)			
2	設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇〇番地 セツケイ株式会社 ■■■ ■■■ ○※1			
3	工事施行者住所氏名	〇〇市〇〇△丁目〇番地 株式会社コウジセコウシヤ 代表取締役 ▲▲ ▲▲			
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	〇〇市〇〇〇〇番の一部 外〇筆(別紙のとおり) 並びに上記地先〇〇市法定外道路(里道) (緯度: 35 度 00 分 16.3 秒、経度: 135 度 52 分 06.8 秒) ※2			
5	土地の面積	1,623.49 平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	農地(田)			
7	工事完了後の土地利用	宅地(共同住宅(1棟4戸)) ※3			
8	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9	土地の地形	溪流等への該当 有(無)			
10 工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	1.50 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする 土地の面積	1,623.49 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	1,511.31 立方メートル		
		切土	0.00 立方メートル		
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	プレキャストL型擁壁	2.10 メートル	16.00 メートル
		2	重力式擁壁	1.50~2.10 メートル	4.92 メートル
	別紙1のとおり ※欄が足りない場合				
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長
		該当なし		メートル	メートル
ヘ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長	
	1	U型側溝	30 センチメートル	54.22 メートル	
	2	集水桝	30 センチメートル	1 箇所	
	別紙2のとおり ※欄が足りない場合				
ト	崖面の保護の方法	コンクリート造の擁壁で保護			

	チ 崖面以外の地表面の保護の方法	植生工※4		
	リ 工事中の危害防止のための措置	・工事区域内にバリケードを設置 ・工事車両について、ガードマンを配置し交通整理		
	ヌ その他の措置	なし		
	ル 工事着手予定年月日	許可後		
	ヲ 工事完了予定年月日	許可後約 60 日間		
	ワ 工程の概要	工程表のとおり		
11	その他必要な事項	道路法○条の許可取得済み、農地法○条の許可申請済み、○○市法定外公共物工事許可取得済み、文化財保護法○条の届出済み		
	※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
	年 月 日			年 月 日
	第 号			第 号
	係員氏名			係員氏名
〔注意〕				
1 ※印のある欄は記入しないでください。				
2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。				
3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。				
4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。				
5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。				
6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。				
7 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。				
8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。				
9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。				

(その他の記載例、解説等)

※1:

設計によらなければならない工事(下記)を含むときは、氏名の横に「○」印を記入すること。

- ・ 高さが5mを超える擁壁の設置
- ・ 盛土または切土をする土地の面積が1,500㎡を超える土地における排水施設の設置

※2:

中心付近の緯度経度を60進法(度分秒)で記入

【参考：滋賀県庁の緯度：35.004513■（10進法）】

- ・ 度：35 (60進法) = ■の整数部分
- ・ 分：00 (60進法) = ((■一度の値)×60)の整数部分
- ・ 秒：16.3※ (60進法) = (■一度の値－(分の値÷60))×3600

※四捨五入して小数点以下第一位まで記入(四捨五入)【経度も同様】

※3:

- ・ 資材置場(建築なし)
- ・ 露天駐車場(建築なし)
- ・ 農地(果樹園:建築なし)

※4:

- ・ 張りコンクリート
 - ・ 法面とは反対方向に排水勾配を設定(注)
- 注)法長等によっては、地表水、風化その他浸食から保護されるよう対策が必要

■「盛土又は切土の高さ」について(参考例)

